

地域の未来を創るマリン・イノベーターの育成 ～IT導入による持続可能な地域社会の創造～

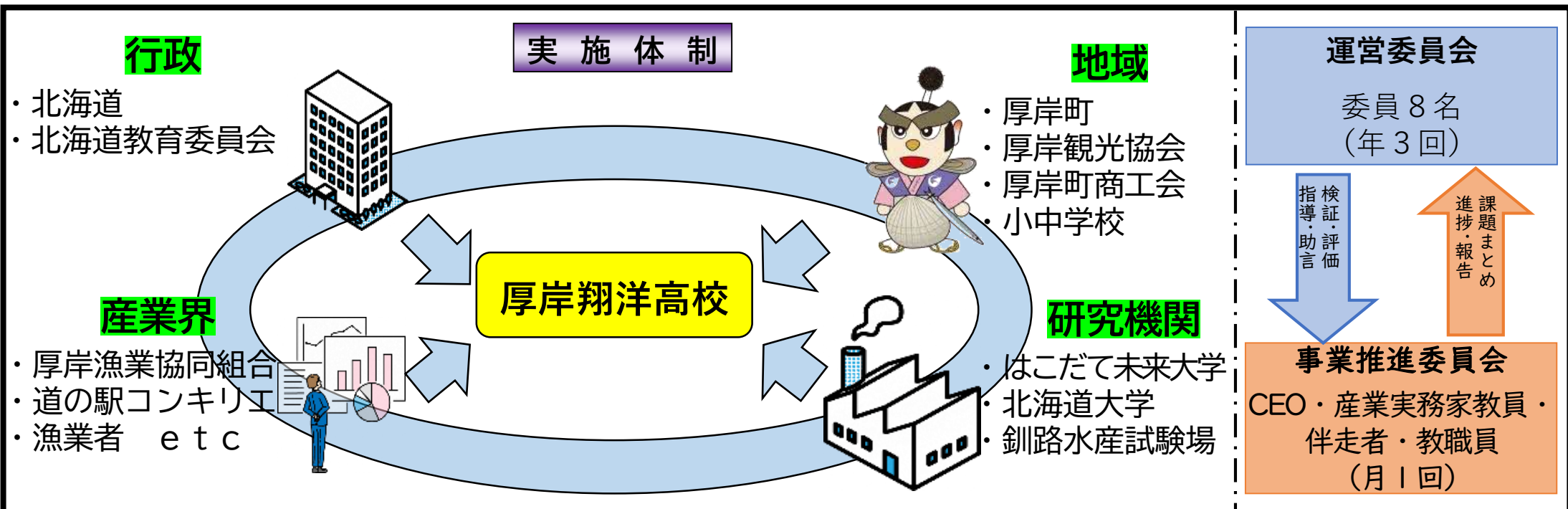


マイスター・ハイスクール・ビジョン

- ①地域と連携し、漁家経営を意識した実践的・体験的な学習活動の推進
- ②地域の課題を解決するため、「課題研究」を中核とした教科横断的な探究活動の推進
- ③令和5年に厚岸町で行われる「全国豊かな海づくり大会」と協働した取組の推進
- ④企業実習を活用した産業界との連携によるキャリア教育の推進
- ⑤海洋教育パイオニアスクールプログラムの実績を生かした小・中学校との連携
- ⑥大学や研究機関と連携した授業や実験・実習など高度な専門教育の推進
- ⑦地域を知り、地域の魅力を発信する情報教育の推進

事業の目的

水産分野の産業構造が変化し、仕事の内容の革新が求められる中、カキやアサリ、コンブなどの水産業を基幹産業とする厚岸町において、IT技術を活用したスマート水産業の実践を通して、地域の資源管理型漁業の推進に寄与するとともに、デジタル人材の育成をはじめとした地域産業の持続的な成長を牽引する最先端の職業人を育成する



地域の未来を創るマリン・イノベーターの育成 ～IT導入による持続可能な地域社会の創造～

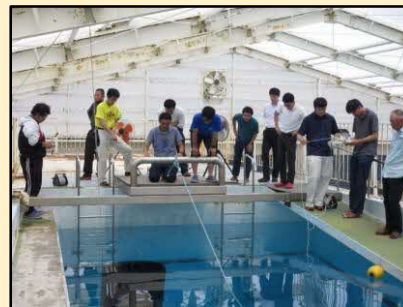


【令和6年度の目標】 事業成果を効果的に周知して学校の応援団を拡大し、地域と一体となって未来を担う人材を育成する

令和6年度の主な取組



厚岸町の特産物であるカキの産卵日を予想するため、「うみログ」の海水温データを活用してカキの成熟状況を調査し、HPやAndroidTVで周知した。



校内の25mプールと潜水プールに特設コースを設置し、漁業者等を対象としたドローン講習会を実施した。



「水中ドローン」を活用して厚岸湾のホタテ漁場の海底調査を実施し、「Google Earth」を使用した資源量のマップ化に取り組んだ。



地元の未利用魚・低利用魚であるアメマスを使用した「揚げかまぼこ」の研究を継続し、今年度、ブラッシュアップした商品が厚岸町ふるさと納税返礼品として採用された。

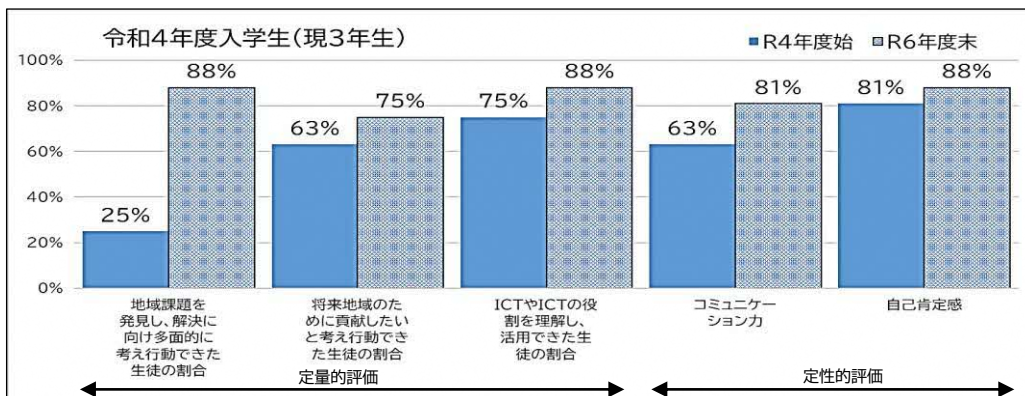


地元の水産物を使用した新商品として、「灯台つぶのジュレ仕立て」や「灯台つぶのミルクスープ」の缶詰を企業と協働して製造し、商品化に向けて取り組んだ。



マイスター・ハイスクール事業の取組を広く周知するため、「PR動画」や「厚岸町の漁業」、「うみログ」のデータ等を町内3カ所に設置したAndroidTVを用いて発信した。

アンケート調査結果



- 定量的評価、定性的評価ともに、全ての項目で入学当初より上昇
- 定量的評価の中で、特に「地域課題を発見し、解決に向けて多面的に考え行動できる」や「将来、地域のために貢献したいと考え、行動できる」の項目において、昨年と比べて15ポイント以上上昇
- 定性的評価の中で、「自己肯定感」の項目において、昨年同期と比べて約20ポイント上昇

事業終了後に向けて

- 教育課程の編成と探究活動の充実
 - ・既存の「総合的な探究の時間」(Realize)に加え、学校設定科目「L・Lマリン」を2学年で実施する。
 - ・「L・Lマリン」では、ICT、IoT及びドローンの活用に関する学習などを行い、3学年の「課題研究」で探究活動を充実する。
- コミュニティ・スクールの導入
 - ・地域との連携を深化し、地域の将来を担う人材を育成する。
- 導入した海洋観測機器やドローンの維持
 - ・経費がかかるものについて、その検出や活用の方法について検討しながら、学習活動の保障を図る。